

## 要請番号 (JL13025B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
トンガ	I103 福祉用具		個別	新規	2年	・2026/1・2026/3・2027/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

保健省

## 2) 配属機関名（日本語）

国立バイオラ病院

## 3) 任地（ヌクアロファ） JICA事務所の所在地（ヌクアロファ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩 で 約 0.0 時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

1971年に設立された国立総合病院であり、トンガ唯一の基幹病院。内科、外科、救急外来、ICU、産婦人科、小児科、リハビリテーション科等を設置。ベッド数約300床。保健省予算33億円。外来患者は呼吸器系疾患、感染症疾患が主であり、入院患者は交通事故などの外傷、糖尿病などの成人病疾患、新生児疾患のケースが多い。リハビリテーション科には、2名の医師と4名の理学療法士、1名の義肢装具士(2023年オーストラリアで修了)が配置されており、主に理学療法が行われている。また、当院のリハビリテーション科がトンガ国内のすべての義肢装具を製作・修理しており、軽微な調整を含めると年間100件以上に対応している。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

近年トンガでは、糖尿病患者の増加に伴い四肢の一部を失うケースが増加しており、義肢・装具の製作に対するニーズが高まっている。しかしながら、当国には義肢装具士を養成する機関はないため、オーストラリアで学んだ義肢装具士1名が国内唯一の義肢装具士として、2024年に当院に配置された(更に1名が海外で修学中)。現在、経験の浅い義肢装具士が義肢・装具の製作・調整のすべてを担っており、例えば大腿義足の調整技術が難しいと感じていても指導・助言できる人材がおらず試行錯誤している。このような背景から、経験の浅い義肢装具士の知識と技術の向上を図るために、JICA海外協力隊の要請が出された。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 義肢装具士に対して実務を通じて技術指導を行う。
  - 義肢装具士と共に義足・装具を製作する。
  - 機材の故障を防ぐために、機材のメンテナンス管理を行う。
- 可能な範囲で、車椅子の修理や調整をサポートする。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

義肢装具製作機材一式、  
材料はシリコンライナーがオーストラリアより寄贈されている

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

- 義肢装具士(20代女性、海外研修修了、実務経験1年半)
- 理学療法士4名(30代ー40代男女、実務経験10 - 15年)

【活動対象者】義肢装具士1名、義足・装具が必要な患者

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（義肢装具士）

[学歴]：（大卒） 備考：業務遂行上必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：経験に基づく協力  
が必要  
（指導経験）2年以上 備考：指導する立場のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（15～33℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

派遣前訓練では英語を学習するが、生活や活動内容、活動対象者によって現地語を使うことも想定されるため、現地語はトンガ派遣後の現地語学訓練で学習する。なお、他医療隊員などと情報交換して連携することが期待される。

【類似職種】

・保健師

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。